

Webex会議のIPアドレスの分類に関する包括的な理解

内容

[はじめに](#)

[UmbrellaおよびWebex会議のIPアドレスについて](#)

はじめに

このドキュメントでは、UmbrellaがWebex会議のIPアドレスをオンラインミーティングとして分類する方法について説明します。

UmbrellaおよびWebex会議のIPアドレスについて

Cisco WebEx Meetingは、カテゴリ化されていない動的ドメインと、予告なく変更されるIPアドレス (CIDR範囲) を使用するWeb会議アプリケーションです。以前は、未分類のドメインとIPアドレスをブロックするWebポリシーをカスタマーが使用すると、UmbrellaのSecure Web Gateway(SWG)によってこれらのドメインとIPアドレスがブロックされていました。

分類されていないドメインとIPアドレスをブロックすることでSWGがWebex Meetingサービスを中断させることがないようにするため、Umbrellaのポリシーエンジンは、これらのWebex関連ドメインとIPアドレスをオンラインミーティングとして継続的に分類します。

つまり、Webex MeetingsドメインまたはIPアドレスを宛先リストまたは選択的復号化リストで手動で管理または維持する必要がなくなります。

[Webex Meetingsで使用されるドメインの詳細](#)を参照してください。

詳細については、[WebEx Meetingsで使用されるIPアドレス](#)を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。